

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：

単位 2

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（大修館書店 新編論理国語

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使おうとしている。	論理的に考えることに加え、章や資料を対象化して、その正誤や適否を吟味したり検討したりしながら考えている。また、他者の考えと自分の考えを吟味したり検討したりすることを通して、自分で新しい考えを生み出そうとしている。さらに、状況や場面に応じた他者との関わりの中で、必要な事柄を正確に伝え、相手の意向を的確に捉えて解釈したり、効果的に表現したりしている。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。また、言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めようとしている。さらに、現代社会に関わる話題や問題に幅広く関心をもち、生涯にわたる読書習慣の基礎を築き、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	探究する力 【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ア	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。			○	【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)エ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	7
	補助線を引きながら考える 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	○	○	○	4
	定期考査				○		○	○	1	
	和の思想、間の文化 【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。【(1)イ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体と抽象の関係を的確にとらえながら、筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	ミロのヴィーナス 【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○		○	○	1	
人類の進化から考える「心」の誕生 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・対比を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で対比の関係をとらえる助けとしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対比の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6	

2 学 期	ロボットに心はあるか 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の關係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確しながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の關係をとらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○					1
	政治の本質 【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・主張と根拠の關係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主張と根拠の關係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	「である」ことと「する」こと 【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読者の立場から読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	人口減少社会の到来 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の關係を的確にとらえる。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との關係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の關係をとらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○					
3 学 期	未来の地図帳 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	エネルギー耕作型文明への転換 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、情報化社会についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○					
合計										70

き手が説明に納得できるか評価する。

4 代表者がクラスの前に出て発表する。

5 自分の進路や生き方を考えるには自己分析が重要であることを確認する。

<第5～6時>

ステップ②相手のことをよく知る

1 教科書P. 70を読んで、就職や進学を希望する企業や学校の情報を集める必要があることを確認する。

2 志望する企業や学校を探すため、自分のやりたいことや興味のあることをワークシートに記入する。

3 情報収集のやり方・注意点について説明を聞く。

4 実際に情報収集をして、調べたことをまとめる。

5 今後も志望先が見つければ自分で情報収集することを確認する。

<第7～8時>

ステップ③相手に魅力が伝わるように表現する

1 教科書P. 70～71を読んで、企業・学校と自分のマッチングが重要であることを確認する。

2 志望する企業・学校の「求める人材像」と自分の共通点(＝アピールポイント)を探し、ワークシートにまとめる。できれば複数作成する。

3 ペアになって自己PRを行い、互いに評価する。

4 志望先に合わせてアピールポイントを変える必要があることを確認する。

<第9～10時>

1 教科書P. 72～75を読んで、就職や総合型・学校推薦型選抜ではそれぞれどのような書類を作成するのか確認する。

2 志望の動機(志望理由)の書き方について説明を聞く。

3 志望の動機(志望理由)を文章の形で書く。ペアで内容を確認する。

4 志望の動機(志望理由)を含めて、提出書類を作成する。

5 志望先によって書類を書き分ける必要があることを確認する。

<第11時>

ステップ④面接の準備をする

1 教科書P. 76を読んで、面接のマナーを確認する。

2 面接のマナーや注意点について説明を聞く(映像DVD-ROMの活用を推奨)。

3 ノックや着席の動作などを実際に行う。

4 模擬面接につながる練習であることを確認する。

<第12～13時>

1 教科書P. 77を読んで、模擬面接のやり方を確認する。

2 「志望動機」「自己PR」を口頭で述べる際の注意点について説明を聞く(映像DVD-ROMの活用を推奨)。

3 グループで模擬面接を行う。面接官役、志願者役を決めて、交替で行う。他の人は評価をする。交替時、

げたり深めたり

・「書くこと」
実社会の問題や
題材を決め、情
伝えたいことを
・「書くこと」
るよう、適切な
反論などを想定
文章の展開や構
・「書くこと」
るよう、適切な
文章の構成や展
・「書くこと」
し、根拠となる
表現の仕方を工
・「書くこと」
思いや考えが効
かななどを吟味し
からの助言など
課題を捉え直し
[主]自分を表
をもって聞いた
なことを粘り強
て表現を改善し

	<p>フィードバックを行う。</p> <p>4 人物設定を取り入れた模擬面接を行い、その効果をグループで話し合う。</p> <p>5 面接のポイント、注意点について確認する。</p> <p><第14～15時></p> <p>1 教科書P. 78～79を読んで、さまざまな面接の形式があることを確認する。</p> <p>2 面接形式ごとの特徴や注意点について説明を聞く（映像DVD-ROMの活用を推奨）。</p> <p>3 面接形式に応じた対策の仕方を確認する。</p> <p><第16時></p> <p>表現の窓「人前で表現するのが苦手なあなたへ」</p> <p>1 教科書P. 80～81を読んで、本文の内容を確認する。</p> <p>2 本文の構成・趣旨を確認する。</p> <p>3 「表現すること」の意味についてグループで話し合い、発表する。</p> <p>4 単元全体のリフレクションをする。</p> <p>*この教材には、面接指導用の映像DVD-ROMと、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>			
<p>論理的な文章を書こう</p> <p>スキルアップ ……文章修正ワーク</p> <p>スキルアップ ……パラグラフ・ライティング</p> <p>・小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。</p> <p>・現代社会のトピックに対して、問題発見・課題分析を行い、問題解決能力を養う。</p>	<p><第1時></p> <p>フロントページ</p> <p>1 単元冒頭のリード文（教科書P. 82）を読み、小論文のポイントを確認する。</p> <p>2 主張には根拠が必要であることを確認する。</p> <p>3 ワークシートを使用して、グループで「小論文の主張と根拠」に取り組む。</p> <p>4 説得力のある根拠とはどのようなものか、小論文にふさわしい表現の形とはどのようなものかを確認する。</p> <p><第2時></p> <p>小論文のタイプ</p> <p>1 小論文にはさまざまなタイプ（出題形式）があること、試験では時間配分と制限字数に注意することを確認する。</p> <p>2 教科書P. 84～85の「小論文のタイプ」を読み、テーマ型、課題文型、データ分析型、自己PR型、それぞれの特徴を理解する。</p> <p>3 教科書P. 84下段の「試験本番での取り組み方」を読み、時間配分の目安や文字数の目安を確認する。</p> <p>4 教科書P. 85下段の「小論文のテーマの例」を読み、どのようなテーマが出題されるのかを確認する。</p> <p>5 小論文では現代的な課題について問われるので、日頃から新聞や本を読むことが大切であることを確認する。</p> <p><第3～8時></p> <p>A テーマ型小論文</p> <p>ステップ① 自分の考えを掘り下げ、主張としてまとめる</p>			<p>[知技]</p> <p>・言葉には、自があることを理</p> <p>・話し言葉と書について理解を手、手段に応じて</p> <p>・自分の思いやな語句の量を増して、語感を磨</p> <p>・実用的な文章仕方などについて</p> <p>[思判表]</p> <p>・「書くこと」実社会の問題や題材を決め、情伝えたいことを</p> <p>・「書くこと」るよう、適切な反論などを想定文章の展開や構</p> <p>・「書くこと」るよう、適切な文章の構成や展</p> <p>・「書くこと」し、根拠となる表現の仕方を工</p> <p>・「書くこと」思いや考えが効かななどを吟味しからの助言など課題を捉え直し</p> <p>[主] 小論文を主張を組み立てとを粘り強く理の文章を改善し</p>

- 1 教科書P. 86を読んで、テーマ型小論文では、与えられたテーマについて「自問自答」をしながら、考えを述べることを確認する。
 - 2 ワークシートを使用して、「問い」を立てる練習をする。教科書P. 87を参考に、マッピングも実践してみる。
 - 3 ワークシートを使用し、問題提起と主張をそれぞれ一文で表す。
ステップ② 根拠を挙げ、反論で補強する
 - 4 教科書P. 88～90を読む。ワークシートを使用して、根拠を挙げ、反論で補強するペアワークをする。
ステップ③ 構成メモを作る
 - 5 教科書P. 91の「構成メモの例」を読む。ワークシートを使用して、構成メモを作る。ペアワークで確認する。
ステップ④ 執筆・推敲する
 - 6 教科書P. 92～93の「小論文完成例」と下段の「ポイント」を読む。ワークシートを使用して、推敲の練習をする。
 - 7 ワークシートを使用して、小論文を執筆・推敲する。
 - 8 小論文の評価について学び、ペアワークで評価し合う。
 - 9 テーマ型小論文作成の流れを振り返って確認する。
- <第9～12時>
- B 課題文型小論文
- 1 課題文型小論文では、課題文の主旨を踏まえて、自分の考えを述べることを確認する。
 - 2 課題文（教科書P. 98）を読み、内容を確認する。
 - 3 ワークシートを使用して、課題文の要旨をまとめ、論点を挙げる。教科書P. 99を読んで確認する。
 - 4 論点に関する具体例を挙げる。
 - 5 教科書P. 100～101の「小論文完成例」を読み、構成を参考にする。構成メモを作り、ペアワークで確認する。
 - 6 ワークシートを使用して、小論文を執筆・推敲する。
 - 7 小論文の評価を行う。
 - 8 課題文型小論文作成の流れを振り返って確認する。
- <第13～16時>
- C データ分析型小論文
- 1 教科書P. 102下段を読んで、データ分析型小論文では、グラフや表を踏まえて自分の考えを述べることを確認する。
 - 2 図表の読み取り方について学習する。
 - 3 図1～図3（教科書P. 102～103）の読み取りをする。
 - 4 教科書P. 104を読んで、三つの図表を合わせて考えることを確認する。グループを作り、図1～図3から何が論点となるかを話し合う。
 - 5 教科書P. 105の「小論文完成例」を読む。構成メモを作成する。
 - 6 ワークシートを使用して、小論文を執筆・推敲する。

	<p>を執筆・推敲する。</p> <p>7 小論文の評価を行う。</p> <p>8 データ分析型小論文作成の流れを振り返って確認する。</p> <p><第17～18時></p> <p>D 自己PR型小論文</p> <p>1 教科書P. 106を読んで、自己PR型小論文では、経験や実績などを具体例として挙げながら、自分の長所や思いを述べることを確認する。</p> <p>2 自分の長所を複数挙げ、それを表すエピソードを探す。</p> <p>3 教科書P. 107の「小論文完成例」を読み、構成を確認する。</p> <p>4 構成メモを作成し、ペアで確認する。</p> <p>5 小論文を執筆・推敲する。</p> <p>6 小論文の評価を行う。</p> <p>7 自己PR型小論文作成の流れを振り返って確認する。</p> <p><第19～20時></p> <p>表現の窓「リンクを張る能力の鍛え方」</p> <p>1 教科書P. 110～111を読んで、本文の内容を確認する。</p> <p>2 本文の構成・趣旨を確認する。</p> <p>3 「リンクを張る能力」についてグループで話し合い、発表する。</p> <p>4 単元全体のリフレクションをする。</p>			
<p>話し合う力をつけよう</p> <p>・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。</p> <p>・災害避難所でのコミュニケーションにおける意見対立を描いた脚本をもとに、協働的問題解決を目指す話し合いをシミュレーションする。</p>	<p><第1時></p> <p>フロントページ</p> <p>1 話し合いの経験を振り返り、グループもしくはクラスで共有する。</p> <p>2 フロントページ（右ページ）を読み、話し合う意義と目的、ファシリテーションの概念を確認する。</p> <p>3 1で振り返った話し合いについて、「ウォーミングアップ」の図の○A・○Bに当てはまるものがあつたか、また、なぜそのような話し合いになったかを発表し合う。</p> <p>4 話し合いの意義、目的、機能を押さえ（カードやノートに書き出し）、次回からの学習展開を共有する。</p> <p><第2時></p> <p>話し合いの基本的な展開</p> <p>1 教科書に示された「1世有→2世</p>			<p>[知技]</p> <p>・話し言葉と書について理解を手、手段に応じし、使い分けて</p> <p>・自分の思いやな語句の量を増して、語感を磨</p> <p>・省略や反復なめ使っている。</p> <p>・自分の思いやにする読書の意</p> <p>[思判表]</p> <p>・「話すこと・応じて、実社会ら話題を決め、ら情報を収集</p>

散→3収束・合意形成→4確認」を読んで基本の流れを押さえる。

2 各教科や部活動、あるいは地域の自治会などで実際に進行中もしくはこれから予定されている話し合いや会議（「文化祭のクラス展示について」「地域防災活動の活性化について」「お盆休みの家族旅行について」など）を例に、「1収束」から「4確認」までのプロセスをシミュレーションする。

3 シミュレーション終了後に、出されたファシリテーションのポイントをクラス全体で確認する。

<第3時>

ファシリテーションの実践例を考える

1 被災地の避難所生活にまつわる知識・情報を共有する。

2 教科書P. 116～118のシナリオを読む。

3 生じている問題について、意見の対立を中心に把握し、その原因となっている物理的現象および人物の言動を洗い出す。

4 問題解決の方向性を、登場人物の言動の面から探る。

5 ファシリテーションの意義と目的を再確認する。

<第4時>

表現の窓「スポーツと同じように議論にもルールがある」

1 スポーツのルールにまつわる知識や体験を共有する。

2 教科書P. 124～125の「表現の窓」の文章を読み、要旨を捉える。

3 避難所の話し合いに必要な「ルール」を考える。

4 3で考えたルールを今後のシナリオ作りの参考にすることを確認する。

<第5時>

表現の窓「同じ論拠から多様性を見いだすには」

1 自分と他人とで「常識が違う」と感じた体験を共有する。

2 教科書P. 126～127の「表現の窓」の文章を読み、要旨を捉える。

3 避難所の生活において、ぶつかり合う「常識」を考える。

4 3で考えたことを今後のシナリオ作りの参考にすることを確認する。

<第6～7時>

ファシリテーションの実践例を考える

1 教科書P. 116～118のシナリオを再読する。

2 グループに分かれて、教科書P. 117以降のシナリオについて、対立を最小限にとどめ、合意形成のもと問題解決に向かうものを書き換える。

3 発表時までにリハーサルをしておくことを指示する。

<第8～9時>

1 話し合いを演劇の形でシミュレーションすることのねらいと意義を確認する。

2 グループごとに発表を行う。発表後、意見・感想を交流する。

3 教科書P. 114～115下段に掲載された「ファシリテーターの心得」を再

ている。

- ・「話すこと・や考えが伝わるなど、話の構成
- ・「話すこと・に応じて言葉をや機器を効果的や共感が得られ
- ・「話すこと・にして聞きながたり、相手の思をして、自分の
- ・「話すこと・や論拠を吟味しけたりするためげたり深めたりの出し方を工夫
- ・「書くこと」実社会の問題や題材を決め、情伝えたいことを
- ・「書くこと」るよう、適切な文章の構成や展
- ・「書くこと」確にし、事象をなど、表現の仕

[主] 本を紹介今までの学習を容への理解を深したりしようと

	<p>度読み、話し合いのメンバー一人一人がファシリテーションを身につけて、それを活用することが理想的であることを共有する。</p> <p><第10時> いろいろな話し合い 1 話し合いや会議には（人間の知恵や文化として）いろいろな形態があることを、教科書の例を見ながら学習する。 2 パネルディスカッションやディベート、ワールドカフェなどの体験を問うたり、実際の様子が分かる動画を視聴したりする。 3 単元全体のリフレクションを行う。</p> <p>*この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>			
<p>表現と読書活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を紹介し合う活動を通して、さまざまな本と出会い、読書の楽しみを知る。 ・本を紹介したり、本の内容について対話したりする活動を通して、思考を深め、表現を豊かにする。 	<p><第1時> 1 単元全体の目標を確認する。表現の窓「読書もまた一つの『経験』」 2 教科書P. 138～139の「表現の窓」を読んで内容を理解し、「読書の効用」についてグループで話し合う。読書ノート 3 読書記録の取り方や活用の仕方について情報交換し、「読書ノート」の作り方を確認する。 4 この単元での活動を通して読みたいと思った本を、読書ノートのリストに追加していくことを確認する。</p> <p><第2時> 図書室探検 1 図書室探検のやり方を確認する。 2 三～四人のグループで図書室に入り、十分間で各自がお宝本（読みたいと思った本）を一冊探してくる。 3 各自が探し出したお宝本をグループで共有する。 4 グループのお宝本に共通するテーマを話し合って考える。 5 共通テーマを表現するためのポスターを作る。</p> <p><第3時> 1 お宝本についてクラス全体の前でどのように発表するかを、グループで話し合う。 2 各グループのお宝本紹介をする。各自が自分のお宝本を紹介し、最後に</p>			<p>知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と表現の特色について場面、相手、手段を理解し、自分の思いや考えが伝わるように話し合える。 ・自分の思いや考えを伝えるために必要な語句の選択や言い換えを通して、表現を豊かにする。 ・省略や反復などを活用して、表現を深め使っている。 ・自分の思いや考えを豊かにする読書活動を通して、表現を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」の場に応じて、自分の思いや考えが伝わるように話し合える内容を検討する。 ・「話すこと」の場に応じて、自分の思いや考えが伝わるように話し合える内容を検討する。

ポスターを見せて本に共通するテーマを紹介する。

3 読んでみたいと思った本を読書ノートにリストに追加する。

<第4時>

ブックトーク

1 ブックトークのやり方を確認する。

2 教科書P. 131の「テーマの見つけ方」を参考にしながら、テーマを決め、テーマにふさわしい本を選ぶ。

3 どのように本を紹介するか考え、原稿を書く。

4 発表の際に配るレジュメを用意する。

<第5時>

1 発表の順番を決める。

2 話し手は七分以内で三冊紹介する。聞き手は配布されたレジュメにメモを取りながら聞く。

3 全部のブックトークが終わったところで読みたいと思った本を読書ノートのリストに追加する。その本をなぜ読みたいと思ったのかを振り返りに書く。

<第6時>

ブック・プレゼン・ダイアログ

1 ブック・プレゼン・ダイアログのやり方を確認する。

2 本を準備する。

3 グループで各自が分担するページを決める。

4 自分の担当ページを読み、B5判の用紙六枚程度に内容をまとめ、要約ポスターを作る。

<第7時>

1 グループ内で、ポスターを掲示しながらページ順に要約を発表し合い、全体内容を共有する。

2 他のグループの掲示を見て回り、気になるところに質問、コメントを書いた付箋を貼る。

3 グループに戻り、自分たちのポスターに貼られた付箋をもとに、グループ内で対話する。

4 グループ代表が対話内容を発表し、全体で共有する。

<第8時>

ビブリオバトル

1 ビブリオバトルのやり方を確認する。

2 今までの読書を振り返り、他の人に薦めたい本を選ぶ。

3 どのように本を紹介するか考え、発表の準備をする。

4 予選グループを決める。

<第9時>

1 予選グループ内で、発表とディスカッションを行う。

2 予選グループ内で投票し、チャンプ本を決める。

3 予選通過のチャンプ本を、クラス全体に向けて紹介し、ディスカッションを行う。

4 全体で投票し、クラスのチャンプ本を決める。

5 読んでみたいと思った本を読書ノートのリストに追加する。

と、相手の内容を工夫している。

・「話すこと」を明確にして聞き手を魅了したり、感情を伝えたり、語り始める工夫が求められる。

・「話すこと」の主張や論拠を明確に展開を助けたら、聞き手は、考えを広げたり深めたりする工夫が求められる。

・「書くこと」について、実社会の場から適切な題材を選び、内容を工夫して、伝える。

・「書くこと」が求められるよう、文章の構成や表現など、文章の工夫が求められる。

・「書くこと」を明確にし、聞き手を魅了したりするなど、

[主] 本を紹介し、今までの読書を通して内容へ関心をもち、表現を工夫する。

	<p><第10時> 本の帯・ポップ作り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本の帯，ポップとはどういうものか確認する。 2 帯とポップ，どちらの形式で作成するか決める。 3 PRしたい本を選ぶ。 4 帯またはポップの構想を練り，作成する。 5 完成した帯またはポップを掲示し，互いに見て回る。 6 単元全体のリフレクションをする。 			
<p>情報活用力を身につけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な情報を見極め，その情報を目的に合わせて効果的な表現で発信する。 ・相手意識を持ち，相手にとって有用な内容や理解しやすい表現を吟味する。 	<p><第1時> フロントページ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教科書P. 140～149を読んで，報告書をもとに新たに広報資料を企画・制作する流れや，制作のポイントを確認する。 2 広報誌，ホームページなど，広報資料の種類について確認する。 3 生徒たちが持ってきた広報資料について，メディアの種類や発信元，想定される読者，紙面などの特徴を分析する。 4 広報資料の制作では相手意識，目的意識が大切であることを確認する。 <p><第2時> ステップ①企画立案・取材</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グループを作り，グループのメンバーの持ってきた広報の中から，もとにする資料を一つ選ぶ。（ワークシートを活用してもよい。） 2 編集会議を行い，これから制作する広報資料では，伝える相手や媒体をどのように設定するか，考える。 3 どのような内容をどのような形で伝えたいか，編集方針を考える。 <p><第3時></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 伝える相手，目的，媒体を確認し，それらに合わせてどのような情報が必要かを確認する。 2 不足している情報の収集方法，原稿や図版の作成，写真の撮影など，必要な作業を確認する。 3 締め切りを決め，スケジュールを確認する。 4 役割分担する。 <p><第4～6時></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各自の役割分担に合わせて，情報の収集や図版の作成，既存の資料をもとに書ける部分の原稿作成などを行う。 2 集めた資料や作成した原稿について内容を確認する。 3 担当者，あるいはグループの代表者などが，資料や原稿を集めて保管す 			<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には，自があることを理 ・話し言葉と書について理解を手，手段に応じし，使い分けて ・実用的な文章仕方などについて <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・や論拠を吟味しけたりするためげたり深めたりの出し方を工夫 ・「書くこと」実社会の問題や題材を決め，情伝えたいことを ・「書くこと」るよう，適切な反論などを想定文章の展開や構 ・「書くこと」るよう，適切な文章の構成や展 ・「書くこと」し，根拠となる表現の仕方を工 ・「書くこと」確にし，事象をなど，表現の仕 ・「書くこと」思いや考えが効かななどを吟味しからの助言など課題を捉え直し <p>[主] 広報資料題に沿って読み合いながら協力としている。</p>

る。

<第7時>

ステップ②編集・制作

- 1 編集会議の目的について確認する。
- 2 編集会議を開き，レイアウトやデザインを考える。
- 3 レイアウトやデザインを紙などに大まかに描き，全体のバランスを確認する。
- 4 読み手の立場で考えて，見やすいかどうか再度確認する。
- 5 原稿の文字数や図版の大きさなどを調整し，レイアウトを決定する。

<第8～9時>

- 1 写真や映像の掲載許可が取れているか確認する。
- 2 原稿や図版，写真や動画を，パソコンなどを使って紙面や画面に合うように組み合わせ，全体を形にする。
- 3 紙面や画面全体を見て，バランスのよしあしや見づらいところ，読みにくいところなどを確認し，修正して仕上げる。
- 4 レイアウトした広報資料をプリントアウトする。

<第10時>

- 1 「広報の目的に照らしてチェック」（教科書P. 147）を読み，校正のポイントを確認する。
- 2 プリントアウトした広報資料を校正する。
- 3 校正結果に合わせて，修正する。
- 4 完成した広報資料を保存またはプリントアウトする。

<第11時>

ステップ③発信

- 1 保存していたデータをアップロードしたり，紙に印刷して掲示したりする。
- 2 アップロードしたものや掲示したものに対する意見や感想などを聞く。
- 3 表現の仕方などで心がけた点，工夫に気づいた点を伝え合う。

<第12時>

表現の窓「読者への配慮」

- 1 教科書P. 152～153を読んで，本文の内容を確認する。
- 2 本文の構成・趣旨を確認する。
- 3 「読者への配慮」をする意味についてグループで話し合い，発表する。
- 4 単元全体のリフレクションをする。

<p>心をつかむ表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上のことも含めた「表現」活動を振り返り、今後の「表現」をだいにする気持ちを養う。 ・表現の工夫が他者とのやりとりで重要であることを理解し、言葉を吟味し適切に使おうとする態度を養う 	<p><第1時></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 単元の目標と学習の流れを確認する。 2 教科書P. 188～193を読み、内容を理解する。 3 グループや隣どうしで、印象に残った部分話し合う。 4 3で話し合った内容も踏まえて、考えたことをまとめる。 <p><第2時></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 YOASOBIか高梨沙羅選手のどちらかを選び、文章を読んで考えたことを、箇条書きなどを用いて書き出す。 2 1で書き出した要素について、構成を決めて、文章にまとめる（三〇〇字程度）。 3 グループ内（隣どうし）で発表し合う。 4 単元全体のリフレクションをする。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いやな語句の量を増して、語感を磨く ・省略や反復なめ使っている。 ・自分の思いやにする読書の意 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」の合理性が伝わるとともに、を考えるなど、 ・「話すこと」に応じて言葉をや機器を効果的や共感が得られ ・「話すこと」にして自分の考や構成、論理のにも、聞き取ったり深めたり ・「話すこと」や論拠を吟味しけたりするため深めたりの出し方を工夫 ・「書くこと」確にし、事象をなど、表現の仕 <p>[主] 教材文を表現の在り方にて自分の表現に</p>
--	---	--------------	--

科目 国語表現

単位

)

における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高

を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準	知	思	態	配当 時数
き言葉の特徴や役割、表現の特色 深め、伝え合う目的や場面、相 た適切な表現や言葉遣いを理解 いる。 考えを多彩に表現するために必要 し、話や文章の中で使うことを通 き語彙を豊かにしている。 などの種類や特徴、構成や展開の て理解を深めている。 聞くこと」において、目的や場 の問題や自分に関わる事柄の中 他者との多様な交流を想定しな 整理して、伝え合う内容を検討し 聞くこと」において、自分の主張 るよう、適切な根拠を効果的に用 相手の反論を想定して論理の展開 話の展開や構成を工夫している。 聞くこと」において、自分の思い よう、具体例を効果的に配置する や展開を工夫している。 聞くこと」において、相手の反応 選んだり、場の状況に応じて資料 に用いたりするなど、相手の同意 るよう表現を工夫している。 聞くこと」において、論点を明確 えと比較しながら聞き、話の内容 展開、表現の仕方を評価すると た情報を吟味して自分の考えを広				

している。
において、目的や意図に応じて、
自分に関わる事柄の中から適切な
報の組み合わせなどを工夫して、
明確にしている。
において、読み手の同意が得られ
根拠を効果的に用いるとともに、
して、論理の展開を考えるなど、
成を工夫している。
において、読み手の共感が得られ
具体例を効果的に配置するなど、
開を工夫している。
において、自分の考えを明確に
情報を基に的確に説明するなど、
夫している。
において、読み手に対して自分の
果的に伝わるように書かれている
て、文章全体を整えたり、読み手
を踏まえて、自分の文章の特長や
たりしている。
現する活動を通じて、相手に共感
り読んだりしてもらうために必要
く理解し、今までの学習を生かし
ようとしている。

○ ○ ○

己と他者の相互理解を深める働き解している。

き言葉の特徴や役割，表現の特色深め，伝え合う目的や場面，相た適切な表現や言葉遣いを理解いる。

考えを多彩に表現するために必要し，話や文章の中で使うことを通き語彙を豊かにしている。

などの種類や特徴，構成や展開のて理解を深めている。

において，目的や意図に応じて，自分に関わる事柄の中から適切な報の組み合わせなどを工夫して，明確にしている。

において，読み手の同意が得られ根拠を効果的に用いるとともに，して，論理の展開を考えるなど，成を工夫している。

において，読み手の共感が得られ具体例を効果的に配置するなど，開を工夫している。

において，自分の考えを明確に情報を基に的確に説明するなど，夫している。

において，読み手に対して自分の果的に伝わるように書かれているて，文章全体を整えたり，読み手を踏まえて，自分の文章の特長やたりしている。

書く活動を通じて，設問に応じて，根拠を明確にしながら論じるこ解し，学習の見通しをもって自らようとしている。

○

○

○

16

--	--	--	--	--

き言葉の特徴や役割，表現の特色
深め，伝え合う目的や場面，相
た適切な表現や言葉遣いを理解
いる。
考えを多彩に表現するために必要
し，話や文章の中で使うことを通
き語彙を豊かにしている。
どの表現の技法について理解を深
考えを伝える際の言語表現を豊か
義と効用について理解を深めてい

聞くこと」において，目的や場
の問題や自分に関わる事柄の中
他者との多様な交流を想定しなが
整理して 伝え合う内容を検討し

--	--	--	--	--

聞くこと」において、自分の思い
よう、具体例を効果的に配置する
や展開を工夫している。

聞くこと」において、相手の反応
選んだり、場の状況に応じて資料
に用いたりするなど、相手の同意
るように表現を工夫している。

聞くこと」において、視点を明確
ら、話の内容に対する共感を伝え
いや考えを引き出したりする工夫
思いや考えを広げたり深めたりし

聞くこと」において、互いの主張
たり、話し合いの進行や展開を助
に発言を工夫するなど、考えを広
しながら、話し合いの仕方や結論
している。

において、目的や意図に応じて、
自分に関わる事柄の中から適切な
報の組み合わせなどを工夫して、
明確にしている。

において、読み手の共感が得られ
具体例を効果的に配置するなど、
開を工夫している。

において、自分の思いや考えを明
的確に描写したり説明したりする
方を工夫している。

し合う活動に積極的に取り組み、
生かして他者との交流を通して内
めたり、相手に伝わる表現を工夫
している。

書き言葉の特徴や役割，表現の理解を深め，伝え合う目的や場に応じた適切な表現や言葉遣い分けている。

や考えを多彩に表現するために量を増し，話や文章の中で使う語感を磨き語彙を豊かにして

などの表現の技法について理解する。

や考えを伝える際の言語表現を書の意義と効用について理解を

・聞くこと」において，目的や実社会の問題や自分に関わる事項を決め，他者との多様な交流から情報を収集，整理して，伝え込している。

・聞くこと」において，自分の云わるよう，具体例を効果的に話の構成や展開を工夫してい

・聞くこと」において，相手の言葉を選んだり，場の状況に応じて器を効果的に用いたりするな
きめが得られるように表現

思、共感が得られるように工夫する。

・聞くこと」において、視点をきながら、話の内容に対する共相手の思いや考えを引き出しをして、自分の思いや考えを広げている。

・聞くこと」において、互いの興味したり、話し合いの進行ややりやすのために発言を工夫するなげたり深めたりしながら、話し結論の出し方を工夫している。

」において、目的や意図にちじ問題や自分に関わる事柄の中かを決め、情報の組み合わせなど云えたいことを明確にしてい

」において、読み手の共感が得適切な具体例を効果的に配置すの構成や展開を工夫している。

」において、自分の思いや考え事象を的確に描写したり説明し表現の仕方を工夫している。

介し合う活動に積極的に取り組学習を生かして他者との交流をの理解を深めたり、相手に伝わしたりしようとしている。

己と他者の相互理解を深める働き解している。
き言葉の特徴や役割、表現の特色深め、伝え合う目的や場面、相
た適切な表現や言葉遣いを理解
いる。
などの種類や特徴、構成や展開の
て理解を深めている。

聞くこと」において、互いの主張
たり、話し合いの進行や展開を助
に発言を工夫するなど、考えを広
しながら、話し合いの仕方や結論
している。

において、目的や意図に応じて、
自分に関わる事柄の中から適切な
報の組み合わせなどを工夫して、
明確にしている。

において、読み手の同意が得られ
根拠を効果的に用いるとともに、
して、論理の展開を考えるなど、
成を工夫している。

において、読み手の共感が得られ
具体例を効果的に配置するなど、
開を工夫している。

において、自分の考えを明確に
情報を基に的確に説明するなど、
夫している。

において、自分の思いや考えを明
的確に描写したり説明したりする
方を工夫している。

において、読み手に対して自分の
果的に伝わるように書かれている
て、文章全体を整えたり、読み手
を踏まえて、自分の文章の特長や
たりしている。

の目的を粘り強く理解し、学習課
手に伝えたい情報を吟味し、話し
して、よりよい広報資料を作ろう

○

○

○

10

考えを多彩に表現するために必要
し、話や文章の中で使うことを通
き語彙を豊かにしている。
どの表現の技法について理解を深

考えを伝える際の言語表現を豊か
義と効用について理解を深めてい

聞くこと」において、自分の主張
るよう、適切な根拠を効果的に用
相手の反論を想定して論理の展開
話の展開や構成を工夫している。

聞くこと」において、相手の反応
選んだり、場の状況に応じて資料
に用いたりするなど、相手の同意
るように表現を工夫している。

聞くこと」において、論点を明確
えと比較しながら聞き、話の内容
展開、表現の仕方を評価するとと
た情報を吟味して自分の考えを広
している。

聞くこと」において、互いの主張
たり、話し合いの進行や展開を助
に発言を工夫するなど、考えを広
しながら、話し合いの仕方や結論
している。

において、自分の思いや考えを明
的確に描写したり説明したりする
方を工夫している。

読んで、社会で必要とされている
について考え、学習の見通しをもっ
生かそうとしている。

○ ○ ○

2

合計
70

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 国語 科目 現代文発展演習α

教科：国語 科目：現代文発展演習α 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ F組

使用教科書：（プログレス現代文総演習標準編 いわずな書店 ほんもの力がつく現代語練習帳 いわずな書店

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】・文章の種類を把握し、それに合わせた解き方を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。

科目 現代文発展演習α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・文章の種類を把握し、それに合わせた解き方を理解する。 ・評論・小説等の特徴を踏まえたうえで問題を解くことができた。	・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	感	記 時 数
		語 書 読	読					
「多様性をめぐって」伊藤亜紗	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で語の意味を調べる。	○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「ブラリひょうたん」高田保		○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「雨があがる」山本周五郎	・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。	○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「避けられない時空への旅」管啓次郎	・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で語の意味を調べる。	○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「白秋望景」川本三郎		○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「青年期の生き方について」河合肇雄		○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「独酌余瀆」多田富雄	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、文章を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。 ・随筆における筆者の体験や主張を読み解く	○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「母」三浦綾子		○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	2
「自分と向き合う」長谷川宏		○	○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思辨力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の軌道をつまみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	3

期末考査

3 期	「詞華断草」竹西寛子	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習で解法をいながら読解することができる。 常用漢字を文章で使ったり、読んだりすることができる。 歴史と文学・科学者について理解を深める。 実際に共通テストの過去問に取り組み、実践を行う。 	○	○	○	○	○	4
	「なぜ英語以外の外国語を学ぶのか」岡真理		○	○	○	○	○	4
	「新・欲望論」高村薫		○	○	○	○	○	4
	共通テスト演習					○	○	2
	学年末考査							1
合計								70

合計
70

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 国語 科目 現代文発展演習B

教科：国語 科目：現代文発展演習B 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

使用教科書：（プログレス現代文総演習発展編 いいずな書店 ほんもの力がつく現代語練習帳 いいずな書店

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】・文章の種類を把握し、それに合わせた解き方を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。

科目 現代文発展演習B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・文章の種類を把握し、それに合わせた解き方を理解する。 ・評論・小説等の特徴を踏まえたうえで問題を解くことができた。	・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	感	記 時 数	
		国 語	読 書						
『日本のデザイン』原研哉	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で語の意味を調べる。	○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	2
		○	○	○	○	○	○	2	
『裸の王様』開高健	・小説において登場人物の心情を読み取る。 ・小説の主題を把握し、自分なりに解釈を行う。	○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	2
『コミュニケーションという方法論』大井玄	・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で語の意味を調べる。	○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	2
『科学は今どうなっているのか』池内了		○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	2
『犀鳥』遠藤周作		○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	2
『正義』久石譲	・評論文・小説・随筆という文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、文章を読解する。 ・常用漢字程度の漢字を読み、書く。 ・語彙力を増やすよう、自分で文章を調べる。	○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	2
『ひとり遊び』河野裕子	・随筆における筆者の体験や主張を読み解く	○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	2
『感性は感動しない』橋本野衣		○	○	【知技】 ・論じたり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて考えられる。	○	○	○	○	3
期末考査					○	○	○	1	

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 古文演習

教科：国語

科目：古文演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（三訂版 プログレス〈読解・構図・鑑賞〉古文総演習 標準編（いづな書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 古文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	問題1～12 【知識及び技能】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・物語、随筆、日記等の文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・古典における文法、単語を覚え、語彙力を高める。 ・和歌の修辞法について理解する。 ・古典常識についての理解を深める。	○	○		【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解している。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して構成や展開、内容を的確に捉えている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広めたり深めようとしている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めようとしている。 【評価の方法】 ワークの確認、知識事項の小テスト	○	○	○	21
	定期考査				○		○	○		1
2 学 期	問題13～24 【知識及び技能】 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 【思考力、判断力、表現力等】 A書くこと B読むこと	・物語、随筆、日記等の文章の種類の特徴を踏まえて文章を読解する。 ・基本的な論理構成について理解し、語句を読解する。 ・古典における文法、単語を覚え、語彙力を高める。 ・和歌の修辞法について理解する。 ・古典常識についての理解を深める。	○	○		【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解している。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して構成や展開、内容を的確に捉えている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広めたり深めようとしている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めようとしている。 【評価の方法】 ワークの確認、知識事項の小テスト	○	○	○	25
	定期考査				○		○	○		1

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 国語

教科： 国語 科目： 漢文演習 単位数： 2

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ いいずな書店 プロGRESS 漢文演習 標準編

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域
他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたり
うとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おう

科目 漢文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、進路試験に合格できるだけの能力を獲得する。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			
			話・聞	書	読	
1 学期	句形、文法を学ぼう 【知識及び技能】 (1)ウ、エ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)ア、ウ B(1)ア、イ	句形、文法の学習		○	○	【知識及び技能】 ・古典に用いられて読むために必要な語の量を増すことを通と。(1)-ア ・古典の文の成分について理解を深めると。(1)-ウ 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まと。(1)-ア ・文章の種類を踏ま的確に捉えること。
	練習問題に取り組む 【知識及び技能】 (1)ア、ウ、オ 【思考力、判断力、表現力等】 (1)エ、オ、カ	・テキストの問題に取り組む ・大学の問題に取り組む				【知識及び技能】 ・古典に用いられて読むために必要な語の量を増すことを通と。(1)-ア ・古典の文の成分について理解を深めると。(1)-ウ ・言葉には、自己とを理解している。古典の作品や文章などの表現の特色に

2
学
期

ついて理解を深める
【思考力、判断力、
・作品の成立した群
ら古典などを読み、
いて考察すること。
・古典の作品や文章
び付け、考えを広げ
り深めたりすること
・古典の作品や文章
考え方を踏まえ、人
を広げたり深めたり

○ ○

練習問題に取り組む

【知識及び技能】

(1)ア、ウ、オ

【思考力、判断力、表現力等】

(1)エ、オ、カ

・テキストの問題に取り組む

・大学の問題に取り組む

【知識及び技能】

・古典に用いられて
読むために必要な語
の量を増すことを通
と。(1)-ア

・古典の文の成分の
ついて理解を深める
と。(1)-ウ

・言葉には、自己と
を理解している。

古典の作品や文章に
などの表現の特色に
ついて理解を深める

【思考力、判断力、

・作品の成立した群
ら古典などを読み、
いて考察すること。

・古典の作品や文章
び付け、考えを広げ
り深めたりすること

3
学
期

・古典の作品や文章
考え方を踏まえ、人
を広げたり深めたり



科目 漢文演習

単位

)

し適切に使っている。

載に おいて、生涯にわたる社会生活 における
広げたり深めたり している。

ししながら、言葉のもつ価値への認識を深めよ
として いる。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>ている語句の意味や用法を理解し、古典を 句 直して、語感を磨き語彙を豊かにするこ</p> <p>順序や照応、文章の構成や展開の仕方 に こ</p> <p>【 記】 ええて、構成や展開などを的確に捉えるこ</p> <p>ええて、古典特有の表現に注意して内容を (1)-イ</p>	○	○	○	18
<p>ている語句の意味や用法を理解し、古典を 句 直して、語感を磨き語彙を豊かにするこ</p> <p>順序や照応、文章の構成や展開の仕方 に こ</p> <p>他者の相互理解を深める働きがあること</p> <p>こ表れている、言葉の響きやリズム、修辞</p>				

<p>うこと。(1)-オ 表現力等】 背景や他の作品などとの関係を踏まえなが その内容の解釈を深め、作品の価値につ (1)-エ について、内容や解釈を自分の知見と結 げた 。(1)-オ などに表れているものの見方、感じ方、 人間、社会、自然などに対する自分の考え)すること。(1)-カ</p>				26
---	--	--	--	----

<p>ている語句の意味や用法を理解し、古典を 語句 して、語感を磨き語彙を豊かにするこ 順序や照応、文章の構成や展開の仕方につ こ 他者の相互理解を深める働きがあること に表れている、言葉の響きやリズム、修辞 こと。(1)-オ 表現力等】 背景や他の作品などとの関係を踏まえなが その内容の解釈を深め、作品の価値につ (1)-エ について、内容や解釈を自分の知見と結 げた 。(1)-オ</p>				
---	--	--	--	--

⑤などに表れているものの見方、感じ方、
(人間、社会、自然などに対する自分の考え
)すること。(1)-カ

○

○

○

6

合計

50

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科

地理歴史 科目 世界史探究

教科: 地理歴史

科目: 世界史探究

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組 ~ F 組

使用教科書: (世界史探究『高校世界史』)

教科 地理歴史

の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 世界史探究

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	教科書第1～2章 【知識及び技能】 世界各地古代の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 文明の成立と古代文明の特質・中央ユーラシア ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	23
	定期考査			○	○	○	1
	教科書第3～5章 【知識及び技能】 世界各地古代の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 南アジア世界と東南アジア世界の展開・西アジアと地中海周辺の国家形成・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	23
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	教科書第6～11章 【知識及び技能】 世界各地古代の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 イスラーム教の伝播と西アジアの動向・ヨーロッパ世界の変容と展開・東アジア世界の展開とモンゴル帝国・大交易・大交流の時代・アジアの諸帝国の繁栄・近世ヨーロッパ世界の動向 ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1
	教科書第12～16章 【知識及び技能】 世界各地古代の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 産業革命と環大西洋革命・イギリスの優位と欧米国民国家の形成・アジア諸地域の動揺・帝国主義とアジアの民族運動 ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	27
定期考査			○	○	○	1	
3 学期	教科書第16～19章 【知識及び技能】 世界各地古代の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明について多面的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小テストやノート提出に真剣に取り組ませる。	・指導事項 第一次世界大戦と社会の変容・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成・冷戦と第三世界の台頭・冷戦の終結と今日の世界 ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど 資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	35
	定期考査			○	○	○	1
							合計 140

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組 選択

使用教科書：（日本史探究 高校日本史 山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 原始・古代の日本と東アジア 【知識及び技能】 原始・古代の政治や社会、文化の特色や変容について理解している。 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 原始・古代の特色や変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 日本のあけぼの・古墳とヤマト政権・律令国家の形成・貴族政治の展開 ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	中世の日本と世界 【知識及び技能】 中世の政治や社会、文化の特色や変容について理解している。 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 中世の特色や変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 院政と武士の進出・武家政権の成立・武家社会の成長 ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	23
定期考査			○	○		1	
2 学 期	近世の日本と世界 【知識及び技能】 近世の政治や社会、文化の特色や変容について理解している。 近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 近世の特色や変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 近世の幕開け・幕藩体制の成立と展開・幕藩体制の動揺 ・教材 教科書・補助教材・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	近現代の地域・日本と世界 【知識及び技能】	・指導事項 近世から近代へ・近代国家の成	【知識・技能】 小テストや定期考査の素点				

	<p>近現代の政治や社会、文化の特色や変容について理解している。</p> <p>近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近現代の特色や変容について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>立・近代国家の展開と国際関係・近代の産業と生活</p> <p>・教材 教科書・補助教材・ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど</p>	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>近現代の地域・日本と世界</p> <p>【知識及び技能】 近現代の政治や社会、文化の特色や変容について理解している。</p> <p>近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近現代の特色や変容について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>・指導事項 恐慌と第二次世界大戦・現代の世界と日本</p> <p>・教材 教科書・補助教材・ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 小テストや定期考査の素点</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、グループ活動等への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど資料などを参考に自ら考察し、根拠を示しながら表現することができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述、グループ活動への取り組み状況と成果物、自主用ノートなど</p>	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科

地理歴史科 科目 日本の歩き方

教科： 地理歴史科

科目： 日本の歩き方

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（帝国書院） / 標準高等地図（帝国書院） ）

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本の歩き方

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理の基礎的知識を身に付け、外国における生活文化の多様性を理解することができる。	地理的知識をもとに、身近な生活や世界各地で起きている事象と結び付け、各自の価値観に則り、自身の考えを表現することが出来るようにする。	人類が直面している世界的な課題について、主体的に調査して自らの考えを構築する姿勢を身に付けていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	関東地方 【知識及び技能】 関東地方の歴史から、工業の発達と地理的な関係や、生活・文化については、地形や気候との関わりを身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムを活用して、地域を多面的に捉えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報を用いて、よりよい社会の実現を主体的に追究する姿勢を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 様々な課題に対して、生徒が主体的な考えをもち、文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。	○	○	○	5
	東北地方 【知識及び技能】 東北地方の生活・文化について、地形や気候との関わりを踏まえながら考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の立場などを多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 様々な課題に対して、生徒が主体的な考えをもち、文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。	○	○	○	6
	中国・四国地方 【知識及び技能】 中国・四国地方化について、地形や気候との関わりを踏まえながら考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、世界的な課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テストや定期テストの得点 【思考・判断・表現】 様々な課題に対して、生徒が主体的な考えをもち、文章や言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。	○	○	○	11

高等学校 令和8年度 教科

公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書： (最新政治・経済 (実教出版))

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】年度中に有権者となることを見据え、社会参画のために必要な基礎的・基本的な知識・技能を獲得する。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考や価値判断を行い、文章にまとめ、発表する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会の諸課題について、主体的に課題と向き合い解決する力を育む。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現代社会の諸課題の解決に向けて探求するために、手掛かりとなる概念や理論などについて理解し、社会の在り方に関わる情報を調べ、まとめる技術を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身に付け、基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性、実現可能性などを指標にして議論・判断し、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、主権を担う公民として自国の発展に寄与することや、国際社会において国家及び社会の形成者として積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 現代国家と民主政治 【知識及び技能】 ・現在の民主主義の仕組み、成り立ちについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会契約説をもとに現代の政治の在り方について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主権の在り方や立憲主義の是非などを考察させる。	・民主政治の基本原則 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	5
	B 日本の政治制度の仕組み 【知識及び技能】 国会や内閣、政党政治の役割や機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本政治の在り方の課題について調査し、改善点を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在の政党政治の在り方や課題点について考察させる。	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・政党政治 ・世論と政治参加	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 日本国憲法と基本的人権、国際政治 【知識及び技能】 ・日本国憲法の成り立ちと明治憲法の違いを理解させる。 ・日本国憲法で保障されている基本的人権について理解させる。 ・日本の安全保障について基本的な知識を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人権保障の在り方について、判例をもとに議論し、あるべき在り方を考察させる。 ・安全保障と国際協力の在り方について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・新しい人権などこれからの人権保障の在り方について議論し、考察させる。	・日本国憲法の基本原則 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権、請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりや公共の福祉 ・日米安全保障体制の変化 ・21世紀の平和主義	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
2 学期	D 現代の経済社会 【知識及び技能】 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政府の規模を念頭に、経済的な課題への対応を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・企業の役割と社会的責任について考えさせる。	・経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	E 金融と財政 【知識及び技能】 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・金融を通じた経済活動の活性化について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中央銀行の役割、財政の持つ役割について考えさせる。	・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本財政の課題	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	F 現代の日本政治とそこに至る変遷 【知識及び技能】 ・人口減少と格差、貧困が経済に与える影響を考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これからの働き方の在り方を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済成長と公害問題の関係を自分事として考察させる。	・日本経済の成長と課題 ・中小企業 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	6
G 現代日本における諸課題の探究 【知識及び技能】 ・取り上げた課題の解決に向けて政治・経済それぞれの目線から考察させ、説明させる。 【思考力、表現力、判断力等】 ・諸課題の解決策として自分なりの意見を作り出し、指定された発表手段で発表	・持続可能な地域社会の在り方を考える	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	6	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 論述現代

教科：公民

科目：論述現代

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

使用教科書：（ ）

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 論述現代 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる時事問題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さに

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	時事問題とは 【知識・技能】 新聞やニュースに気を配る必要性に気付く。新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニュース検定の問題より、時事問題について理解する態度を形成する。	オリエンテーションを行い、わが国の現代社会で生じている諸問題にどう取り組むべきか学習姿勢を喚起する	【知識・技能】 新聞やニュースに気を配る必要性に気付く。新聞記事を読み、理解できている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニュース検定の問題より、時事問題について理解する態度を形成できている。	○	○	○	6
	キャッシュレス決済 【知識・技能】 新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成する。	キャッシュレス決済が普及することによって期待される効果と新たに生じる問題点について考える	【知識・技能】 新聞記事を読み、理解することができている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成できている。	○	○	○	6
	自然災害と防災 【知識・技能】 新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成する。	今後起こると予想される大規模な自然災害について、どのように備えるべきかを考える	【知識・技能】 新聞記事を読み、理解することができている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成できている。	○	○	○	6
	海洋プラスチック問題 【知識・技能】 新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成する。	地球規模で問題となっている海洋汚染の原因や、それに対する世界各国の取り組みについて学ぶ	【知識・技能】 新聞記事を読み、理解することができている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成できている。	○	○	○	8
2 学 期	食糧危機と貧困 【知識・技能】 新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成する。	世界で発生している食糧問題を知り、今後どのように行動していくべきかを考える	【知識・技能】 新聞記事を読み、理解することができている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成できている。	○	○	○	6
	日中間関係 【知識・技能】 新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成する。	尖閣諸島の領有権をめぐる問題などを知り、日本と中国が今後どのような関係を構築していくべきかを考える	【知識・技能】 新聞記事を読み、理解することができている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成できている。	○	○	○	6
	地球温暖化 【知識・技能】 新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成する。	地球規模での気候変動に対する世界各国の対策や取り組みについて学ぶ ニュース検定を通して、時事問題を学習し資格取得を目指す	【知識・技能】 新聞記事を読み、理解することができている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成できている。	○	○	○	6
	AI技術の広がり 【知識・技能】 新聞記事を読み、理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成する。	AI技術が普及することによって期待される効果と、新たに生じる問題点について考える	【知識・技能】 新聞記事を読み、理解することができている。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の意見をしっかりと聞く態度を形成できている。	○	○	○	6
	新聞作成 ニュース検定 【知識・技能】 ニュース検定の問題より、時事問題について理解する。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 新聞記事を読み、理解しようとする態度を形成する。	1週間の新聞を読み、高校生に必要な情報を切り取り、他者に伝えることができる。 ニュース検定を通して、時事問題を学習し資格取得を目指す。	【知識・技能】 ニュース検定の問題より、時事問題について理解することができる。 【思考・判断・表現】 現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 新聞記事を読み、理解しようとする態度を形成できている。	○	○	○	10

3 学 期	<p>新聞作成 ニュース検定 【知識・技能】ニュース検定の問題より、時事問題について理解する。 【思考・判断・表現】現状について調べ、自らの考えを持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】新聞記事を読み、理解しようとする態度を形成する。</p>	<p>1週間の新聞を読み、高校生に必要な情報を切り取り、他者に伝えることができる。 ニュース検定を通して、時事問題を学習し資格取得を目指す。</p>	<p>【知識・技能】ニュース検定の問題より、時事問題について理解することができる。 【思考・判断・表現】現状について調べ、自らの考えを持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】新聞記事を読み、理解しようとする態度を形成できている。</p>	○	○	○	6	
	<p>課題研究 【知識及び技能】 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できる。 ・現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できる。 ・それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができる。</p>	<p>・持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題を発見しよう 2. 課題を設定しよう 3. 情報を収集しよう 4. 研究成果をまとめて社会へ発信しよう 5. 討論してみよう 	<p>【知識・技能】 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。 ・現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できている。 ・それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができる。</p>	○	○	○	4	
							合計	70

高等学校 令和8年度 教科

公民 科目 倫理

教科： 公民

科目： 倫理

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 選択

使用教科書： (倫理 (東京書籍))

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】年度中に有権者となることを見据え、社会参画のために必要な基礎的・基本的な知識・技能を獲得する。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考や価値判断を行い、文章にまとめ、発表する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会の諸課題について、主体的に課題と向き合い解決する力を育む。

科目 倫理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの人生の在り方・生き方を考察する上で必要な哲学的な知識・技能を獲得する。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身に付け、基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性、実現可能性などを指標にして議論・判断し、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	現代社会の諸課題や自らの在り方生き方について、主体的に課題と向き合い解決する力を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 人間とはなにか 【知識及び技能】 人間の定義や意識の根源、個性の類型化などに対する先哲の思想を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間や個というものへの自分なりの定義や分析を行い、自己表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見から自分なりの意見を構築することができる。	・人間とはなにか ・人間の心の働き	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	4
	B 哲学のはじまり 【知識及び技能】 哲学がどのようなものかを知り、古代ギリシャで探求されたものを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 過去の先哲の思想をもとに、現代のアレテーはなにかを思考し、自分なりの結論を出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヘレニズムとヘブライズムの違いや各思想家の考えの違いを自分の言葉でまとめることができる。	・哲学すること ・自然哲学 ・ソフィスト ・ソクラテス、プラトン、アリストテレス ・ヘレニズムとヘブライズム	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	6
	論文課題	・“私”とはなにか ・“愛”とはなにか		○	○		2
	C 西洋思想の発展 【知識及び技能】 キリスト教以降、ルネサンスを経て理性への探求を深めていった近代西洋の思想を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ内容をもとに自分なりの考えを構築し、価値判断を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人格とは何か、認識とはなにか、理性とはなにか、といった内容に自分なりの答えを出すことができる。	・近代思想の展開 ・人格の尊厳と人倫の思想 ・社会変革の思想 ・理性への疑念	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学 期	D 宗教の思想 【知識及び技能】 イスラーム、バラモン教、仏教の基本的な考え方を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ内容をもとに自分なりの考えを構築し、価値判断を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生きるとはどういうことか、死に向けてどのように生きていくのかといった命題に対し自分なりの答えを出すことができる。	・イスラーム ・古代インドの思想 ・仏教	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物				12
	論文課題	・正義とはなにか ・宗教の存在意義とはなにか					2
	E 日本における思想の変遷 【知識及び技能】 日本で生まれた国学などの思想の特徴を掴むことができ、その思想の変遷を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ内容をもとに自分なりの考	・日本人の精神風土 ・日本人の思想形成 ・他思想と日本との連続性	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物				

	<p>えを構築し、価値判断を行うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 “日本人”とはなにか、日本国内での思想の独自の発展から他の思想をどう捉えるかについて、自分なりの答えを出すことができる。</p> <p>定期考査</p>					13
3 学 期	<p>F 現代の諸課題と倫理</p> <p>【知識及び技能】 近代西洋思想における価値の問い直しの系譜を理解することができる。世界から見た日本という目線で今まで学んできた思想を別視点から捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 学んだ内容をもとに自分なりの考えを構築し、価値判断を行うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正義とはなにか、人間はどうあるべきかという命題に対して自分なりの答えを出すことができる</p>	<p>・人間観、言語観の問い直し ・国際社会に生きる日本人の自覚</p>	<p>【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物</p> <p>【思考・判断・表現】 「考えてみよう」への記述量・内容 プリントへの書き込み</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、ノートなどの提出物</p>			18
	定期考査					1
						合計 70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 標準数学

教科： 数学 科目： 標準数学 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング（実教出版）
完全攻略 高校生の一般常識+SPI問題集（実教出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 標準数学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して、事象を論理的に考察する力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察し問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数の計算 ・四則演算、累乗、虫食い算、分数の計算ができるようにさせる。	・四則やかっこの混じった式の計算 ・小数・分数の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
比率と割合・比例と反比例 ・比の計算、割合、比例と反比例を理解させ、活用できるようにさせる。	・比の表し方・計算 ・割合 ・比例と反比例	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
四則計算、小数・分数の計算 ・四則演算、小数の計算、分数の計算ができるようにさせる。	・四則演算 ・小数の計算 ・分数の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
文字式・整式の計算 ・文字式、同類項の整理、指数法則を用いて計算ができるようにさせる。	・文字式の表し方 ・指数法則	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
比、割合 ・比、割合の計算ができるようにさせる。	・比例式 ・割合の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
定期検査			○	○		1
乗法公式による展開と因数分解 ・展開、因数分解ができるようにさせる。	・乗法公式による展開 ・因数分解	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
無理数の計算 ・平方根の計算、分母の有理化ができるようにさせる。	・平方根の計算 ・分母の有理化	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
1次方程式 ・1次方程式、連立方程式の解を求めることができるようにさせる。	・1次方程式 ・連立方程式	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2

1
学
期

	損益 ・ 損益の計算ができるようにさせる。	・ 定価、売価、利益	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	料金 ・ 料金に関する問題が解けるようにさせる。	・ 代金（料金）割引の計算問題 ・ 代金の清算問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	速さ・時間・距離 ・ 速さ・時間・距離の計算、単位の変換ができるようにさせる。	・ 距離、速さ、時間の計算 ・ 単位の変換	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	定期考查			○	○		1
	2次方程式 ・ 2次方程式の解を求めることができるようにさせる。	・ 2次方程式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	不等式 ・ 1次不等式、連立不等式の解を求めることができるようにさせる。	・ 1次不等式 ・ 連立不等式	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	1次関数とグラフ ・ 1次関数のグラフ、直線の式、2直線の交点を用いた問題が解けるようにさせる。	・ 1次関数のグラフ ・ 2直線の交点	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	濃度算 ・ 食塩水の濃度を求めることができるようにさせる。	・ 食塩水の濃度 ・ 水や食塩水を加える問題 ・ 異なる濃度の食塩水を混ぜる問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	年齢算 ・ 年齢の差、年齢の比に関する問題が解けるようにさせる。	・ 年齢の差に関する問題 ・ 年齢の比に関する問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	仕事算・水槽算 ・ 仕事算、水槽算の問題が解けるようにさせる。	・ 仕事算に関する問題 ・ 水槽算に関する問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	定期考查			○	○		1
2学期	2次関数とグラフ ・ 2次関数のグラフ、放物線と直線の交点を用いた問題が解けるようにさせる。	・ 2次関数のグラフ ・ 放物線と直線の交点	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
	図形と角・合同な図形・平行線と線分の比 ・ 図形と角、合同な図形に関する問題が解けるようにさせる。 ・ 平行線と線分の比を求めることができるようにさせる。	・ 図形と角 ・ 合同な図形 ・ 平行線と線分の比	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2

図形の面積・体積 ・図形の面積・体積を求めることができるようにさせる。	・図形の面積 ・立方体の表面積・体積	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
三角比 ・三角比に関する問題が解けるようにさせる。	・三角比の定義・相互関係 ・正弦定理・余弦定理・三角形の面積	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
順列・組み合わせ ・順列・組み合わせに関する問題が解けるようにさせる。	・順列 ・組み合わせ	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
確率 ・確率に関する問題が解けるようにさせる。	・確率	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
平均の計算 ・平均値の計算、データの合計値の計算ができるようにさせる。	・平均値 ・データの合計	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
定期考査			○	○		1
3 学 期						
場合の数と確率 ・和の法則と積の法則、順列、組合せ、確率に関する問題が解けるようにさせる。	・和の法則と積の法則 ・順列・組合せ ・確率	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	1
表の読み取り・資料の整理 ・平均値、中央値、最頻値を求めることや、表の読み取りができるようにさせる。	・平均値、中央値、最頻値 ・表の読み取り	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
さまざまな問題① ・距離、速さ、時間の関係、濃度算に関する問題が解けるようにさせる。	・距離、速さ、時間の関係 ・濃度算	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
さまざまな問題② ・不等式と領域、数列、対数に関する問題が解けるようにさせる。	・不等式と領域 ・数列 ・対数	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
表の読み取り ・表を読み取ることにより値を求めることができるようにさせる。	・表の読み取り	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
図形 ・展開図、図形の照合に関する問題が解けるようにさせる。	・展開図 ・図形の照合	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2

集合 ・集合に関する問題が解けるようにさせる。	・集合の要素の個数	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
推論（順序） ・順序に関する推論の問題が解けるようにさせる。	・順序の推論	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
推論（正誤） ・正誤に関する推論の問題が解けるようにさせる。	・命題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	2
定期考查			○	○		1
						合計
						70

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科

数学 科目 数学Ⅲ

教科: 数学

科目: 数学Ⅲ

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:

使用教科書: (新編 数学Ⅲ (数研出版))

教科 数学

の目標:

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学Ⅲ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限・微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	関数 ・分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。	・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	11
	数列の極限 ・数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められる。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できる。	・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	11
	定期検査			○	○	○	1
	関数の極限 ・数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用することができる。	・関数の極限 ・三角関数と極限 ・関数の連続性	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	12
	導関数 ・微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。	・微分係数と導関数 ・導関数の計算 ・加法定理 ・加法定理の応用	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	12
定期検査			○	○	○	1	
2 学期	いろいろな関数の導関数 ・導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・いろいろな関数の導関数 ・第n次導関数 ・曲線の方程式と導関数	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	13
	導関数の応用 ・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする。	・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	13
	定期検査			○	○	○	1
	いろいろな応用 ・関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する。	・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	14

	不定積分 ・様々な関数の不定積分やその計算 法則を導関数をもとにして考え、そ れをもとに不定積分を求められるよ うにする。	・不定積分とその基本性質 ・置換積分と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	14
	定期考查			○	○	○	1
3 学 期	定積分 ・様々な関数の定積分を求められる ようにする。また、定積分を面積と して捉え、様々な事象の考察に活用 できるようにする。	・定積分とその基本性質 ・置換積分と部分積分法 ・定積分のいろいろな問題	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	18
	積分法の応用 ・定積分を活用して、面積、体積、 曲線の長さなどを求められるように し、またそれらを通じて定積分の理 解をさらに深める。	・面積 ・体積 ・道のり	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考查、授業の取り組み	○	○	○	18
							合計 140

56

36

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科

数学 科目 医療看護数学

教科: 数学

科目: 医療看護数学

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組~ F 組

教科担当者:

使用教科書: (看護医療系の数学 I + A (シグマベスト))

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 医療看護数学 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、問題を解決するために事象を数学的に解釈したり、知識を活用できるように数学的活動を通して取得する。	数学を活用して、事象を論理的に思考する力、数理的に問題を捉えて解決するための方法を考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	展開と因数分解 ・高校数学の基礎・基本である式の展開、ならびに因数分解についてその方法を理解し、双方向の式変更をできるようにする。	・式の展開 ・式の因数分解	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○		4
	実数 ・実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則演算ができるようにする。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	4
	2次関数とグラフ 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフを描くなどして多面的に考察する。	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ ・2次関数の最大最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○			4
	定期検査			○	○	○	1
	2次方程式と2次不等式 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	5
	図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期検査			○	○	○	1
データの分析 適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の間の関係 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	4	
場合の数と確率 ・樹形図を用いて、場合の数の数え上げができるようにする。 ・和の法則、積の法則の利用場面を理解し、具体的な場面で場合の数を求められるようにする。	・集合の要素の個数	【知識・技能】 検査 【思考・判断・表現】 検査、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 検査、授業の取り組み	○		○	5	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教科： 理科 科目： 化学

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 実教出版 化学 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見直しをもつて観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見直しをもつたり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 気体、液体、固体の性質を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解する。 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連させて理解する。 化学反応における熱及び光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解する。 外部から加えられた電気エネルギーによって、酸化還元反応が起こることを理解する。 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解する。 反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学と物質 状態変化 固体の構造 化学反応と熱・光エネルギー 化学反応と電気エネルギー 反応の速さとしくみ 化学反応と電気エネルギー 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。また、状態変化に伴うエネルギーの出入り及び状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解している。 化学反応における熱及び光の発生や吸収は、反応前後における化学エネルギーの差から生じる事を理解している。また、ヘスの法則について理解している。 化学発光や生物発光、光化学反応について理解している。 化学電池の仕組みについて理解している。 外部から加えた電気エネルギーによって、酸化還元反応が起こることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化は、構成粒子の分子運動が関係していることや分子運動が温度・圧力によるものであることを化学的に説明できる。 状態間の平衡について、気液平衡や蒸気圧を例に考察することができる。 固体の構造の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。 化学反応に伴って熱、光、電気エネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒の影響などを受けることを考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化を日常生活や社会に関連させ、探究、考察しようとする。 状態変化の現象について、粒子の運動と関連づけて探究しようとする。 化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあることを意図的に探究・考察しようとする。 	○	○	○	13
	<p>定期考査</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。 溶液のしきみ、溶解度を溶解平衡と関連づけて理解する。 反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 気体の性質 溶液 反応の速さとしくみ 化学平衡 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。 溶液の性質の法則性、コロイド溶液に関する事象について理解し、知識を身につけている。 反応速度の表し方、反応速度に影響を与える要因などについて理解している。 可逆反応や化学平衡の移動について理解している。 化学平衡に関する観察、実験などを行い、その操作や記録などの技能が習得でき、結果から結論を導くことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の法則や希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。 化学平衡になる典型的な反応について、実証的・論理的に分析し、科学的に考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体、液体、固体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。 気体が示す様々な性質に着目し、探究しようとする。 温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意図的に探究・考察しようとする。 	○	○		1
	<p>定期考査</p>			○	○		15
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 非金属元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連させ理解する。 金属元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 金属元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 無機物質 元素と周期表 非金属元素 典型金属元素 遷移元素 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非金属元素の単体・化合物の性質や反応について、周期表と関連づながら理解し、知識を身につけている。 無機物質の性質や反応について、観察実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱いが身に付いている。 無機物質が実験を通してどのように日常生活に利用されているかを知る。 典型元素と遷移元素の特徴を正確に把握できている。 無機物質がその特徴を生かして日常生活の中で利用されていることを理解し、その知識を応用することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを考えることができる。 無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断できる。 日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意図的に探究したりしようとする。 	○	○	○	6
	<p>定期考査</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解する。 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連して理解する。 酸素を含む脂肪族炭化水素の性質や反応について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物とその構造 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 炭化水素の分類とその反応性の関係や構造異性体の関係を理解している。 有機化合物の成分元素の確認や組成式・分子式・構造式の決定について理解している。 脂肪族炭化水素の性質や反応性について、日常生活に関連させて理解している。 芳香族化合物の分類とその反応性の関係や異性体、配向性の関係を理解している。 芳香族化合物の性質が置換基により特徴づけられることを具体的な物質で理解している。 芳香族化合物、高分子化合物の性質や反応性について、日常生活に関連させて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベンゼン、置換基をもつ芳香族化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、異性体、配向性などを論理的に考察し、説明することができる。 高分子化合物の性質や反応性が、その構造及び結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し、いくつかの高分子化合物について具体的に考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	13
	<p>定期考査</p>			○	○		1
3	<ul style="list-style-type: none"> 芳香族化合物の構造、性質及び反応について理解する。 有機化合物が、その特徴を生かして日常生活の中で利用されていることを理解する。 有機化合物の性質や反応性に関して探究活動を行い、理解を深めるとともに化学的に探究する能力を高める。 高分子化合物の性質や反応を観察、実験を通して探究し、その特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 芳香族化合物 高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 芳香族化合物の性質が置換基により特徴づけられることを具体的な物質で理解し、さらに芳香族化合物相互の関連性について理解している。 芳香族化合物、高分子化合物の性質や反応性について、日常生活に関連させて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造式によって、その化合物の性質や反応性について推論することができる。 	○	○	○	25

<p>学期</p>	<p>・天然高分子化合物の構造や性質について理解する。 ・合成高分子化合物の構造や性質について理解する。</p>		<p>・高分子化合物の性質や反応性が、その構造及び結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し、いくつかの高分子化合物について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・芳香族化合物、高分子化合物に関する性質や反応に関する事象・現象に関心をもち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物、高分子化合物について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と結び付けて考えようとする。</p>	○	○	○	○
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

使用教科書：（第一学習社 高等学校 生物）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 生物の進化 生命の起源や細胞の進化のしくみについて理解するとともに、突然変異の影響や遺伝子の組み合せについて考え、表現する。	地球上に生命が誕生して以来、生物がどのような道筋をたどって現在の生物の世界ができたかを理解させる。また、進化の仕組みについて正しく理解させる。	生命の起源や細胞の進化のしくみについて理解するとともに、突然変異の影響や遺伝子の組み合せについて考え、表現することができる。	○	○	○	13
	章末テスト			○	○		1
	B 生物の系統と進化 生物の系統や人類の進化について理解するとともに、生物種間の関係や進化の形態的特徴について考え、表現する。	分類学という学問と関連付け、生物の分類をICT端末等を用いながら探究的に理解させる。	生物の系統や人類の進化について理解するとともに、生物種間の関係や進化の形態的特徴について考え、表現することができる。	○	○	○	11
	章末テスト			○	○		1
	C 細胞と分子 生物体を構成する物質の化学的な特性やタンパク質の特性や構造について理解するとともに、細胞を構成する物質と細胞の機能との関係性を見出す。	生命の基本単位である細胞の構造や働きについて理解させるとともに、生物体を構成する物質の中で多くを占めるタンパク質の特性や働きについて考えさせる。	生物体を構成する物質の化学的な特性やタンパク質の特性や構造について理解するとともに、細胞を構成する物質と細胞の機能との関係性を見出すことができる。	○	○	○	11
章末テスト			○	○		1	
2 学 期	D 代謝 代において、エネルギーの受け渡しを行う物質について理解するとともに、光合成や呼吸の反応経路と物質の受け渡しについて考え、表現する。	葉緑体で行われる光合成の反応経路について、化学分野と関連付けて体系的に理解させる。窒素の循環や窒素同化によってもたらされる利益について理解させ、環境保全の問題と関連付けて考えさせる。ミトコンドリアで行われる呼吸について、化学分野と関連付けて理解させる。	代謝において、エネルギーの受け渡しを行う物質について理解するとともに、光合成や呼吸の反応経路と物質の受け渡しについて考え、表現することができる。	○	○	○	15
	章末テスト			○	○		1
	E 遺伝情報とその発現 DNAの分子機構や酵素の働きについて理解するとともに、DNAの塩基配列がRNA、タンパク質のアミノ酸をコードしていることについて考え、表現する。	DNAの特性やDNA複製のしくみについて理解させるとともに、遺伝子の発現がもたらす結果について、学んだ知識と関連付けて考えさせる。	DNAの分子機構や酵素の働きについて理解するとともに、DNAの塩基配列がRNA、タンパク質のアミノ酸をコードしていることについて考え、表現することができる。	○	○	○	6
	章末テスト			○	○		1
	F 遺伝子の発現調節と発生 特定の遺伝子のみが発現する仕組みについて理解するとともに、原核生物と真核生物の遺伝子発現のしくみの共通点と相違点について考える。	細胞から個体ができるまでの過程・仕組み・遺伝子の働き・進化について探究的に考えさせる。	特定の遺伝子のみが発現する仕組みについて理解するとともに、原核生物と真核生物の遺伝子発現のしくみの共通点と相違点について考えることができる。	○	○	○	13
章末テスト			○	○		1	
3 学 期	G 遺伝子を扱う技術とその応用 遺伝子を扱う技術のメリット、デメリットについて理解するとともに、利用の是非について考える。	バイオテクノロジー利用の背景と応用による利益について理解させるとともに、バイオテクノロジーを利用することについての課題について考えさせる。	遺伝子を扱う技術のメリット、デメリットについて理解するとともに、利用の是非について考えることができる。	○	○	○	7
	章末テスト			○	○		1
	H 動物の反応と行動 刺激の受容と情報の伝達経路について理解するとともに、動物の活動が化学物質の受け渡しによっておこることを考え、表現する。	動物の発生のしくみについて、ウニやカエルを例に用いて図や具体物を用いて理解させる。生得的行動と習得的行動の違いについて比較しながら理解させる。	刺激の受容と情報の伝達経路について理解するとともに、動物の活動が化学物質の受け渡しによっておこることを考え、表現することができる。	○	○	○	16
	章末テスト			○	○		1
	I 植物の成長と環境応答 刺激の受容と情報の伝達経路について理解するとともに、植物の活動が化学物質の受け渡しによっておこることを考え、表現する。	植物の発生と環境応答を適応の視点から生態系と結び付けて、探究的に理解させる。	刺激の受容と情報の伝達経路について理解するとともに、植物の活動が化学物質の受け渡しによっておこることを考え、表現することができる。	○	○	○	13
章末テスト			○	○		1	
3 学 期	J 生態系のしくみと人間の関わり 生態系の成り立ちと個体群間のかかわりについて理解するとともに、生態系内のエネルギーの収支について考え、表現する。	生態系においてそれぞれ特徴的な役割を持つ個体群について、様々な生物を例に用いて、実際の生態系と関連付けて理解させる。	生態系の成り立ちと個体群間のかかわりについて理解するとともに、生態系内のエネルギーの収支について考え、表現することができる。	○	○	○	25
	章末テスト			○	○		1

淵江 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 地学基礎

教科: 理科 科目: 地学基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組 ~ F 組

使用教科書: (第一学習社 高等学校 地学基礎)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能

【思考力、判断力、表現力等】観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度

科目 地学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	宇宙と太陽の誕生 【知識及び技能】 基本概念について読み、課題を理解し、原理法則も理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験を通し、適切な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション能力を育成しつつ振り返りで内容をまとめ、課題を見出すことができる。	宇宙の探究 宇宙の始まり 太陽の誕生 太陽の活動	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	5
	太陽系と地球の誕生 【知識及び技能】 基本概念について読み、課題を理解し、原理法則も理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験を通し、適切な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション能力を育成しつつ振り返りで内容をまとめ、課題を見出すことができる。	太陽系の構造 太陽系の誕生 太陽系の惑星 生命の惑星・地球	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	地層と化石 【知識及び技能】 基本概念について読み、課題を理解し、原理法則も理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験を通し、適切な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション能力を育成しつつ振り返りで内容をまとめ、課題を見出すことができる。	地層の形成 地層の重なりと広がり 堆積岩 化石と地質時代	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	5
	地球と生物の変遷 【知識及び技能】 基本概念について読み、課題を理解し、原理法則も理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験を通し、適切な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション能力を育成しつつ振り返りで内容をまとめ、課題を見出すことができる。	先カンブリア時代 古生代 中生代 新生代	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学 期	大気と海洋 【知識及び技能】 基本概念について読み、課題を理解し、原理法則も理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験を通し、適切な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション能力を育成しつつ振り返りで内容をまとめ、課題を見出すことができる。	大気構成と特徴 対流圏における水の変化 太陽放射と地球放射 地球を出入りするエネルギー エネルギー収支の緯度分布 風 大気の大循環 海洋の構造 海洋の大循環 エルニーニョ現象とラニーニャ現象	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	7
	地球の概観 【知識及び技能】 基本概念について読み、課題を理解し、原理法則も理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験を通し、適切な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーション能力を育成しつつ振り返りで内容をまとめ、課題を見出すことができる。	地球の形と大きさ 地球の形の特徴と大きさ 地球の内部構造 地球内部の動き	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	プレート運動 【知識及び技能】 基本概念について読み、課題を理解し、原理法則も理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】	プレートの分布と運動 プレートの境界 地殻の変動と地質構造 変成作用	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート				

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅢ

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 A組～ F組

教科担当者：

使用教科書：（COMET English Communication Ⅲ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の4技能（聞く・読む・話す・書く）の向上に通じる基本的な語彙力・文法・読解方法・作文力・音声の捉え方・話すための表現を習得することを目標とする。	知識・技能で身に付けた力を具体的に話すことや英文で表現させ、さらにペアワークやグループワークを通じてプレゼンテーション能力を育成することを目標とする。	他の2技能で身に付けた力を深化させるため、ペアワークやグループワーク等を通じて、他の生徒と協働することの大切さや自己の能力を深く探究する力を養成することを目標とする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	能	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 English as an International language 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人前で表現、発表したり、文章で意見を	・指導事項 be動詞・一般動詞 言語・外国文化 英語の歴史を知ることによって自らの英語学習について考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin Ⅲ（教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳）	○	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の内容について自分の意見で発表出来ている	○	○	○	10
	B 単元 Lesson2 Degital Art 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人前で表現、発表したり、文章で意見を表すことが出来る。	・指導事項 現在完了形 芸術・科学技術 観光やスポーツに使用されているデジタルアートについて考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin Ⅲ（教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の内容について自分の意見で発表出来ている	○	○	○	10
	1学期中間考査	知識・技能 思考・判断・表現力						知識・技能 思考・判断・表現力	○	○		1
	C 単元 Lesson 3 Sport Unite People for Peace 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人前で表現、発表したり、文章で意見を	・指導事項 受け身 「国民結束の日」に参加している南スーダンの青年の行動を通じて平和について考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin Ⅲ（教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の内容について自分の意見で発表出来ている	○	○	○	10
	D 単元 Lesson4 Let's have a picnic 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人前で表現、発表したり、文章で意見を	・指導事項 動名詞・不定詞 イギリス・フランス・日本のピクニックの歴史を通じて健康について考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin Ⅲ（教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の内容について自分の意見で発表出来ている	○	○	○	10
1学期期末考査	知識・技能 思考・判断・表現力						知識・技能 思考・判断・表現力	○	○		1	
2 学 期	A 単元 Lesson 5 Dresden Elbe Valley 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人前で表現、発表したり、文章で意見を	・指導事項 関係代名詞・関係副詞 世界遺産から削除された当地の経緯について読み、都市開発と自然保護のバランスについて考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin Ⅲ（教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳）	○	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の内容について自分の意見で発表出来ている	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 6 Flowers from Life 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人前で表現、発表したり、文章で意見を表すことが出来る。	・指導事項 分詞 動物殺処分ゼロを目指した「いのちの花プロジェクト」について考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin Ⅲ（教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の内容について自分の意見で発表出来ている	○	○	○	10
	2学期中間考査	知識・技能 思考・判断・表現力						知識・技能 思考・判断・表現力	○	○		1
C 単元 Lesson 7 Groval Refugee Crisis 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人	・指導事項 比較級・最上級 難民問題について、国連の取り組みを通して、その解決策について考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin Ⅲ（教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳）	○	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の	○	○	○	10	

前で表現、発表したり、文章で意見	・一人1台端末の活用 等					内容について自分の意見で発表出来ている				
D 単元 Lesson 8 Dream Bigger Go Further 【知識及び技能】語彙・文法・表現・文単位の理解から文章全体の内容理解 【思考力、判断力、表現力等】知識・技能で習得した事を使って、人前で表現、発表したり、文章で意見	・指導事項 形式主語it 植松さんのエピソードを読み、あきらめない事の重要性を知り、自分の将来について考えさせる。 ・教材 VISTA English Communicatin III (教科書・WORKBOOK・Bricks単語帳) ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	聞く：語彙・表現・文単位・文章の単位で音が音と内容が理解出来ているか 読む：語彙・表現・文法を理解し正確に内容を把握出来ているか 話す（やり取り）：既習事項についてペアワーク等を通じて使うことが出来ているか 話す：（発表）既習事項を使って、単元の内容について自分の意見で発表出来ている	○	○	○	10
2学期期末考査	知識・技能 思考・判断・表現力					知識・技能 思考・判断・表現力	○	○		1

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 外国語 科目 発展英語

教科：外国語 科目：発展英語 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組（必修選択）

使用教科書：（Hyper Listening Elementary 4th Edition, Pair & Share③、Zoom English Grammar 23 Lessc）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】教科書本文に書かれている内容を正しく理解し、基本的な語彙や慣用表現を覚えることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】教科書本文に関連した内容や文法事項を用いて、自らの思考を伝えたり発表したりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】積極的に授業に参加すると同時に、与えられた課題を期限までに正確に実施することができる。

科目 発展英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元における文法事項を正確に理解し、類似表現の違いが分かる。	各単元における文法事項を用いて、創意工夫をこらした一定の長さの英文を作成することができる。	積極的に授業に参加するとともに、語彙力の増強に努めることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期 【知識及び技能】 ○基本時制・助動詞・現在完了・過去完了・受動態の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ○基本時制・助動詞・現在完了・受動態の英作文 【学びに向かう力、人間性等】 ○授業態度 ○単語テスト 期末考査	第1章 基本時制 第2章 助動詞 第9章 現在完了 第10章 過去完了 第8章 受動態	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○基本時制・助動詞・現在完了・過去完了・受動態を正しく理解できているか 【思考力、判断力、表現力等】 ○基本時制・助動詞・現在完了・受動態を用いて創意工夫をこらした英作文を作成することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 ○年度当初に伝えた授業態度を遵守できているか ○単語テストにおいて十分な得点が獲得できているか	○	○	○	23
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1
2 学 期 【知識及び技能】 ○不定詞・動名詞・分詞・比較の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ○不定詞・動名詞・分詞・比較の英作文 【学びに向かう力、人間性等】 ○授業態度 ○単語テスト 期末考査	第11章 不定詞 第12章 動名詞 第13章 分詞 第6章 比較	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○不定詞・動名詞・分詞・比較を正しく理解できているか 【思考力、判断力、表現力等】 ○不定詞・動名詞・分詞・比較を用いて創意工夫をこらした英作文を作成することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 ○年度当初に伝えた授業態度を遵守できているか ○単語テストにおいて十分な得点が獲得できているか	○	○	○	27
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1
3 学 期 【知識及び技能】 ○関係代名詞・関係副詞の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ○関係代名詞・関係副詞の英作文 【学びに向かう力、人間性等】 ○授業態度 ○単語テスト 卒業考査	第15章 関係代名詞 第16章 関係副詞	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○関係代名詞・関係副詞を正しく理解できているか 【思考力、判断力、表現力等】 ○関係代名詞・関係副詞を用いて創意工夫をこらした英作文を作成することができるか 【学びに向かう力、人間性等】 ○年度当初に伝えた授業態度を遵守できているか ○単語テストにおいて十分な得点が獲得できているか	○	○	○	9
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1
										62

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

外国語 科目 実践英語

教科： 外国語

科目： 実践英語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書： (EFL Writer's Workbook Paragraphs (abax) Praxis Level2 (Z会))

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 語彙や文法等の個別の知識を実際のコミュニケーションにおいて学び、活用することによって獲得する。

【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 高校卒業後も、英語を活用してコミュニケーションを取ろうとする姿勢や態度を養う。

科目 実践英語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を4技能（聞く・読む・書く・話す）による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	幅広い話題や問題に、外国語で情報や考えの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を的確に理解したり、これらを活用し適切に表現し伝え合う力を身に付ける。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手・書き手に配慮しながら主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
生活・日常（人生が変わる片付けの魔法） 【知識及び技能】 分詞構文の理解・活用 【思考力、判断力、表現力等】 本文を簡単に要約し人に伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、繰り返し活動に取り組もうとしている	・文法基本問題の演習を通して、 教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文内容・文法事項を理解し、自分の考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 文脈にあった質問や答えを続け、情報や考え、気持ちなどをやり取りを通じて伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を理解し、積極的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
パラグラフについて学ぶ 【知識及び技能】 文章の構造を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文章を作成することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、繰り返し活動に取り組もうとしている	・文法基本問題の演習を通して、 教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文内容・文法事項を理解し、自分の考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 文脈にあった質問や答えを続け、情報や考え、気持ちなどをやり取りを通じて伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を理解し、積極的に活動に取り組もうとしている。 観察・ワークシートの記入・小テスト・パフォーマンス活動	○	○	○	2
教育・心理（睡眠時の語彙学習） 形式主語の理解 【知識及び技能】 本文を簡単に要約し人に伝えることができる 【思考力、判断力、表現力等】 自身の活動を振り返りながら、繰り返し活動に取り組もうとしている。	・文法基本問題の演習を通して、 教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文内容・文法事項を理解し、自分の考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 文脈にあった質問や答えを続け、情報や考え、気持ちなどをやり取りを通じて伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を理解し、積極的に活動に取り組もうとしている。 観察・ワークシートの記入・小テスト・パフォーマンス活動	○	○	○	2
Writing about your daily routine 【知識及び技能】 文章の構造を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文章を作成することができる 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、繰り返し活動に取り組もうとしている	・文法基本問題の演習を通して、 教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文内容・文法事項を理解し、自分の考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 文脈にあった質問や答えを続け、情報や考え、気持ちなどをやり取りを通じて伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を理解し、積極的に活動に取り組もうとしている。 観察・ワークシートの記入・小テスト・パフォーマンス活動	○	○	○	2
定期考査			○			○		○		1	

2 学 期	<p>生物・自然（バイアスについて）</p> <p>【知識及び技能】 whatの用法の理解</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 本文を簡単に要約し人に伝えることができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、繰り返し活動に取り組もうとしている</p>	<p>・文法基本問題の演習を通して、教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。</p> <p>・教科書、プリント等</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 本文内容・文法事項を理解し、自分の考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 文脈にあった質問や答えを続け、情報や考え、気持ちなどをやり取りを通じて伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を理解し、積極的に活動に取り組もうとしている。</p> <p>観察・ワークシートの記入・小テスト・パフォーマンス活動</p>	○	○	○	2
	<p>Subjects in School</p> <p>【知識及び技能】 文章の構造を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文章を作成することができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、繰り返し活動に取り組もうとしている</p>	<p>・文法基本問題の演習を通して、教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。</p> <p>・教科書、プリント等</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 本文内容・文法事項を理解し、自分の考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 文脈にあった質問や答えを続け、情報や考え、気持ちなどをやり取りを通じて伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を理解し、積極的に活動に取り組もうとしている。</p> <p>観察・ワークシートの記入・小テスト・パフォーマンス活動</p>				2
	<p>情報・技術（ネットアーカイブ）</p> <p>【知識及び技能】 数の増減や割合を表す表現の理解</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 本文を簡単に要約し人に伝えることができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら、繰り返し活動に取り組もうとしている</p>	<p>・文法基本問題の演習を通して、教養としての英語コミュニケーション能力を身に着ける。</p> <p>・教科書、プリント等</p>						<p>【知識・技能】 本文内容・文法事項を理解し、自分の考えや気持ちを表現する基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 文脈にあった質問や答えを続け、情報や考え、気持ちなどをやり取りを通じて伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を理解し、積極的に活動に取り組もうとしている。</p> <p>観察・ワークシートの記入・小テスト・パフォーマンス活動</p>				2
	定期考査			○			○			○	○	1

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 保育音楽

教科： 芸術 科目： 保育音楽

単位数： 単位 2

対象学年組： 第 3 学年 必修選択②Bグループ

教科担当者：

使用附則9条（新版やさしいアレンジで楽しく弾ける！ 保育のピアノ伴奏12か月 人気156曲）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 保育音楽 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
楽譜理解・ピアノ伴奏・弾き歌いなど、保育に必要な音楽技能を身に付ける。	子どもと活動することを想定した演奏・表現・音楽活動の工夫ができる	音楽の楽しさを感じ、主体的に練習・表現しようとする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑賞					
1 学 期	歌唱 歌詞の内容に興味をもち、楽曲に対するイメージを膨らませることに意欲的に取り組む。	・校歌 ・童謡	○				知：小テスト 思：実技試験 主：授業態度、提出物	○	○	○	6
	ピアノの基本的な奏法を身に付ける。 右手でメロディーを弾く。	・キーボード ・教科書 ・ワークシート ・童謡				○	知：小テスト 思：ワークシート 主：授業態度、提出物	○	○	○	5
	音楽記号を覚える。	・パワーポイント ・音符カード		○			知：実技試験 思：実技試験 主：授業態度、提出物	○	○	○	8
						○	知：小テスト 思：リズムゲーム 主：授業態度	○	○	○	5
2 学 期	歌唱 歌詞の内容からイメージを膨らませ、強弱などを用いて表現する。	・合唱曲 ・童謡	○				知：小テスト 思：実技試験 主：授業態度、提出物	○	○	○	8
	メロディーと伴奏に分かれ、アンサンブル力を高める。	・童謡		○			知：小テスト 思：実技試験 主：授業態度、提出物	○	○	○	6
	両手で弾けるようになる。	・童謡				○	知：小テスト 思：ワークシート 主：授業態度、提出物	○	○	○	8
	弾き歌いができるようになる。	・童謡	○	○			知：小テスト 思：実技試験 主：授業態度、提出物	○	○	○	6
3 学 期	弾き歌いができるようになる。	・童謡	○	○			知：小テスト 思：実技試験 主：授業態度、提出物	○	○	○	9
								○	○	○	9
										合計	70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術基礎

教科：芸術 科目：美術基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～F組

使用教科書：（学校設定科目、使用教科書は無し。）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにしている。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることがで	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵 ・ 彫	デ 映								
1 学 期	分野の選択「個人計画に基づき題材に取り組む」 【知識・技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとする態度を養う。	・指導項目 発想や構想を深め、創造的に表す技能を身に付けるとともに、個性を生かして創造的に表すことができるように指導する。 ・教材 スケッチブック、鉛筆、色鉛筆、一人一台端末その他各自必要な道具と材料等 ・1人一台端末の活用	○	○	○	○		○	○	○	24	
2 学 期	分野の選択「個人計画に基づき題材に取り組む」 【知識・技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとする態度を養う。	・指導項目 発想や構想を深め、創造的に表す技能を身に付けるとともに、個性を生かして創造的に表すことができるように指導する。 ・教材 スケッチブック、鉛筆、色鉛筆、一人一台端末その他各自必要な道具と材料等 ・1人一台端末の活用	○	○	○	○		○	○	○	28	
3 学 期	分野の選択「個人計画に基づき題材に取り組む」 【知識・技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとする態度を養う。	・指導項目 発想や構想を深め、創造的に表す技能を身に付けるとともに、個性を生かして創造的に表すことができるように指導する。 ・教材 スケッチブック、鉛筆、色鉛筆、一人一台端末その他各自必要な道具と材料等 ・1人一台端末の活用	○	○	○	○		○	○	○	18	
											合 計	70

淵江 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅲ

教科：芸術

科目：書道Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（東京書籍 書道Ⅲ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・中国・日本書道史の理解を深め、書道文化を鑑賞する。 ・書道技術をさらに向上する。	・古典をよく見る力、古典を作品に反映させる力を養う。 ・制作作品のサイズ、様式、内容を自力で考える力を養う。	練習の習慣化、自己課題を見出す力を伸長する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	鑑 賞					
1 学 期	A 単元：作品制作Ⅰ 【知識及び技能】 臨書作品を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 作品のサイズ、様式を自ら設定する。 【学びに向かう力、人間性等】 練習への集中。できた時の喜び	・古典資料の読み込み。・用具の選定。 ・教材：王羲之：喪乱帖、		○	○	・作品の完成度 ・取り組みの姿勢 ・未完作品の補完	○	○	○	12
	B 単元：作品制作Ⅱ 【知識及び技能】 臨書作品を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 作品のサイズ、様式を自ら設定する。 【学びに向かう力、人間性等】 練習への集中。できた時の喜び	・古典資料の読み込み・ ・教材：古典全般（教科書＋補充資料）。		○	○	・作品の完成度 ・取り組みの姿勢 ・未完作品の補完	○	○	○	12
2 学 期	C 単元：中国古典 【知識及び技能】 楷書の練習。4世紀ころの楷書中心 【思考力、判断力、表現力等】 古典をよく見る。 【学びに向かう力、人間性等】 練習への集中。できた時の喜び	・古典資料の読み込み ・教材：龔寶子碑、鄭道昭他		○	○	・作品の完成度 ・取り組みの姿勢 ・未完作品の補完	○	○	○	12
	F 単元：金石 【知識及び技能】 金石資料全般 【思考力、判断力、表現力等】 古典をよく見る。 【学びに向かう力、人間性等】 練習への集中。できた時の喜び	・教材：金石資料 ・金石の臨書により、漢字の象形性の理解をより深める。		○	○	・作品の完成度 ・取り組みの姿勢 ・未完作品の補完	○	○	○	8
3 学 期	G 単元：仮名 【知識及び技能】 平安諸帖 【思考力、判断力、表現力等】 古典に基づき、仮名作品を作る。 【学びに向かう力、人間性等】 練習への集中。できた時の喜び	・教材：変体仮名一覧、百人一首本文 ・変体仮名を読めるようにする、書けるようにする	○		○	・作品の完成度 ・取り組みの姿勢 ・未完作品の補完	○	○	○	12
	H 単元：拓本・法帖 【知識及び技能】 拓本を持つことの価値、採扱技術。 【思考力、判断力、表現力等】 技法の理解と技術取得への思考 【学びに向かう力、人間性等】 作業への集中。できた時の喜び	・教材：石碑のレプリカ、拓本用具用材一式		○	○	・作品の完成度 ・取り組みの姿勢 ・未完作品の補完	○	○	○	4
									合 計	60

淵江高等学校 令和8年度（3学年用） 教科：保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（「現代高等保健体育（50 大修館 保体701）」）

使用教材：（なし）

教科 保健体育の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを実感させ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を養う。
 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(知識) ・各種目の特性、技能、ルール、練習の仕方等を理解する。 ・自己に応じた目標の設定、課題解決のための練習方法を考え、試合や発表会等で表現できるようにする。 (技能) ・各種目の基本的な技能を身に付け、試合や発表会等で実践できるようにする。 ・目標の実現に向け、仲間と協力し、安全に配慮して、学習できるようにする。	・自己や仲間の課題を発見、理解し、目標を定め、その課題解決に向け練習の計画を立てることができるようにする。 ・安全に配慮して、効率よく練習が進められるよう、グループ内で役割分担し、協力できるようにする。 ・生涯にわたって豊かに運動が継続できるように、自己や仲間の課題を発見し、その解決に向けての取り組み方を他者に伝えることができるようにする。	・各種目の特性、ルール、練習方法を理解し、主体的に取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習計画を見直すなど、互いに高め合うために協力できるようにする。 ・危険を予測し行動するなど、常に安全、健康を確保し行動できるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知/技	思	態	配当 時数	
1 学期	1. 体育理論 【知識及び技能】 体育の目標、スポーツにおける技能と体力、技術と戦術について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	体育の目標 スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術	【知識・技能】 体育の目標、スポーツにおける技能と体力、技術と戦術について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	2. 体づくり運動 【知識及び技能】 各種運動の方法、目的等を理解、実践する。自己の心身の状態や体力に応じて、計画を立てて生活や学習で立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の目標に応じた運動を計画立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己の課題や今後の目標について他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及びクラスの課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	体づくりの運動 体力を高める運動 体育祭練習 体力テストの実施と振り返り	【知識・技能】 各種運動の方法、目的等を理解、実践している。 【思考・判断・表現】 自己及びクラスの課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	6
	3. 球技 【知識及び技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立て、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技術を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール（球技・種目選択）	【知識・技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	16
2 学期	4. 球技 【知識及び技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立て、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技術を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、卓球、テニス（球技・種目選択）	【知識・技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	28
	3 学期	5. 球技 【知識及び技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立て、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技術を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール、卓球、テニス（球技・種目選択）	【知識・技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○
6. 体育理論 【知識及び技能】 技能の上達過程と練習、体力トレーニング、運動やスポーツにおける安全の確保について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代スポーツの課題及び自身のかかわりについて、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代スポーツと自身のかかわりについて認識し、目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。		技能の上達過程と練習 体力トレーニング 運動やスポーツにおける安全の確保	【知識・技能】 技能の上達過程と練習、体力トレーニング、運動やスポーツにおける安全の確保について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
						合計	70

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	第11章 支え合う社会	①課題設定 (1時間) この科目のねらい ②情報の収集 (体験活動3時間) 様々な防災活動の体験 ③整理・分析 (1時間) 自分にできることの考察 ④まとめ・表現 (1時間) 自分にできることの発表	○ 自己と社会の繋がりを認識して、高校生活ですべきことを理解できたか。	6 (3)
	5				
	6	第2章 学ぶことの意義	①課題設定 ②情報の収集 (2時間) 学力テストの実施 ③整理・分析 (1時間) 学習状況の課題と対策について ④まとめ・表現 (1時間) 学ぶことの意義を考える	○ 自己の適性・現状・課題を把握できたか。	4
	7	自己実現のための進路研究	①課題設定 (2時間) 自分が関心を持っている分野は何か		2
2	9		②情報の収集 (1時間) 学ぶべき教科・科目について ③整理・分析 ④まとめ・表現 (1時間) 自己実現のための科目選択	○ 自分の将来について真剣に考えられたか。	2
	10				
	11 12	第4章 役割と責任を考える	①課題設定 (3時間 うち体験活動2時間) 地域清掃活動 (体験活動2時間) ボランティアの意義とやり方について ②情報の収集 (体験活動8時間) 足立フレンドリーマラソンの支援 ③整理・分析 (1時間) ④まとめ・表現 (1時間) 自分が果たすべき役割は何か	○ 奉仕活動の意義に関心をもったか。 ○ 体験活動をふまえて、奉仕活動について自ら考えたか。 ○ 奉仕活動を適切に理解し、適切な表現で発表できたか。 他者の発表を聴くことで、考えを共有できたか。	13 (10)
3	1	第1章 人間関係を築く	①課題設定 (1時間) 他人の何を知りたいか、自分の何を知ってほしいか ②情報の収集 (2時間) ワークショップ ③整理・分析 ④まとめ・表現 (1時間) 自己を肯定する大切さについて 他者を尊重する大切さについて	○ 他者と誠実に、前向きに話し合えたか。 ○ 奉仕活動への考え方がどう変化したか。また具体的に行動できたか。	4
	2				
	3	第3章 働くことの意義	①課題設定 (1時間) 企業が欲する人材と自分の長所や能力 ②情報の収集 (1時間) 足立区就労支援課と連携したワークショップ 労働に関する法律について ③整理・分析 様々な働き方とやりがいについて ④まとめ・表現 (1時間) 1年間の活動を通して、自己の考え方や行動の変化について振り返る		4
配当時間数の合計					35 (13) ※ () 内は体験学習で内数

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	6	ガイダンス 概要説明	探究活動の概要説明 テーマの例示 具体的な探究方法の例示	・概要が理解できたか。 ・自分の探究についてイメージできたか。	5
	7	テーマ設定	テーマ・目標の確認 テーマの発表 探究方法へのアドバイス	・テーマを設定できたか。 ・他人のテーマを聞いて自己のテーマを検証できたか。	6
2	10	テーマの個別指導	個別指導の開始 テーマについての助言	・テーマについて、再考することができたか。	6
	12	調査方法の個別指導	個別面談により進捗状況の確認 調査方法の助言 グループ内で中間発表	・調査方法について再検討することができたか。 ・発表を通して、自己の探究について再検討することができたか。	6
3	2	改善点の個別指導	探究方法の改善点や新しい課題などの設定	・相互評価を経て、新しい視点を持ち、探究活動を深めることができたか。	6
	3	報告書の提出	報告書の提出方法確認 報告書の個別指導	・様式にのっとり、報告書が提出できたか。	6
配当時間 数の合計					35

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	個人探究 (人と協働して課題を 解決する)	①整理・分析 (4時間) 情報を整理・分析する際の視点を決める 自分の考察を明示する 人の助言を求める 人に助言を与える	○集めた情報を整理 して、ある視点から 比べることができた か ○誰かの助言を得る ことができたか。また、 誰かに助言を与 えることができたか	1 2
	5				
	6	個人探究 (課題解決の過程をま とめ、発表する)	②まとめ・発表 (8時間) 仮説と調査と考察と結論を盛り込む 見やすい資料の作り方 発表する際の声や姿勢、振る舞いに関する 技術	○資料に仮説・調査・ 考察・結論が盛り込 まれているか ○資料の見やすさ ○発表する際の声や 姿勢・振る舞い	
	7				
2	9	職業の選択と社会貢献 及び自己実現	③整理・分析 (15時間) 3年間の学習の成果を振り返る 自分の現状を把握する 今後の学習目標を立てる 上級学校模擬授業体験	○自分の現状を把握 できたか ○今後の学習目標 を立てることができ たか ○進学後のことま で、深く考えること ができたか	1 5
	10				
	11 12				
3	1	職業の選択と社会貢献 及び自己実現	④まとめ・表現 (8時間) 今、考えるべきこと 今、行動すべきこと お互いの長所や努力していることを指 摘し合うワークショップ 卒業生講演会を見て、自分はどうなりた いと思ったか 卒業を目前に控えて今後すべきこと	○自分の行動すべ きことを把握でき たか ○具体的な行動に 移すことができたか ○自己の長所など を説明できるだけの 材料を把握できたか ○学ぶべき点など 自分の今後に活か せる点を把握でき たか ○今後の具体的な 行動に対して見通し をもてたか	8
	2				
	3				
配当時間 数の合計					3 5